

北海道単位農業協同組合・農業共済組合
労働組合連合会(道農協労連)機関紙
毎月1日発行 1部30円
札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル4階
Tel. 011 (232) 0676
Fax. 011 (232) 2355
URL: http://donokyororen.jp
E-mail: mail@donokyororen.jp
発行責任者 九村 信吾

第55回定期大会

日時: 7月23日(土) 10時~
会場: 札幌市「北海道建設会館」

農協労働者

川 鶴

『女性のつどい』を初開催 終了後も話は尽きず

鶴川農協労組では、6月10日に『女性のつどい』を初めて開催。つどいには、各職場から17名が参加、分散会で職場の状況や問題点などを交流しました。

(報告者・齋藤未来中央執行委員)

昨年の私には、この職場の課題についてようなつどいを開催するなど、想像も出来ませんでした。転機は、札幌市で4月に開催された『第2回全道女性のつどい』に参加したこと。つどいでは、それぞれ



た渋谷さんと相談しながら、また職場の先輩からもアドバイスを頂きながら計画を進めました。鶴川では、初のつどい開催を祝して、開催となる為、沢山の人が気軽に参加して頂けるようにと、その場で食べられるケーキとお弁当を用意し、分散会も全員が話をできる

当日は、労組員17名が集まり、それぞれ班に別れて意見を出し合いました。分散会では、生理休暇や子供の風邪等病気による看護休暇、その他休暇が取りづらい等の意見が多く出された。改善の為に、休暇についての理解の周知と、フォロ体制の確立が必要だという意見が出されました。また、課の中の業務分担や今後の人事についても、不安を抱えている事がわかりました。

労働組合活動については、昔とは違い組織離れがあることや、新人の基礎研修の必要性など、様々な意見が活発に出されました。参加者は、終了時間が過ぎてても話が止まらず、終わるのが惜しい様子でした。アンケート

結果では、「ぜひまたやってほしい」「他の部署の方との交流が楽しかった」「普段言う機会もない事が話せてよかった」など、大変好評でした。一方、「他の班の話も聞きたい」という声もあり、今後の改善点も見えてきました。

出された課題の改善を労組の必要性を再確認。今回、初めてつどい

NOSA I 広域合併対策 新組合の労働条件開示を要求

農業共済組合では、2016年3月までに2件の広域合併が予定されています。(地図) 道央・道北ブロックでは、上川、空知、留萌、宗谷管内の9つの共済組合が合併して『北海道中央農業共済組合(NOSA I道央)』に、道南ブロックでは、渡島、後志、石狩、胆振、日高管内の5つの共済組合が合併して『みなみ北海道農業共済組合(NOSA I道南)』が設立される計画です。

道央・道北の合併対象事業所では、上川北共済職組、留萌地区共済労組、宗谷地区共済労組の3つの単組が合併組合に対応する統一労働組合を結成していくための準備を進めています。これまでに7回の会合を開き、6月1日には新しい組合での基本的な労働条件を開示するよう申し入れました。15日までに経営側より示された回答では、3組合ともに「現時点で決まっているものはない」というものでした。これに対し、労組側は「労働時間が明らかにされなければ新組合発足直後の36



計根別 職組の要求 理事の心を動かす 計根別農協職組(佐々木完委員長)では、昭和58年4月1日以降と以前で差が生じている退職金支給率について、「あまりにも差額が大きすぎる」として、改善要求を検討しています。数年前から改善要求は行っていますが、今年に入り、一部農協理事からも「差が大きすぎるのではないか」との声が上がっており、改善の機運が高まっています。この他、計根別では、食洗器導入による女性職員の負担軽減など、職場環境改善要求も検討しています。